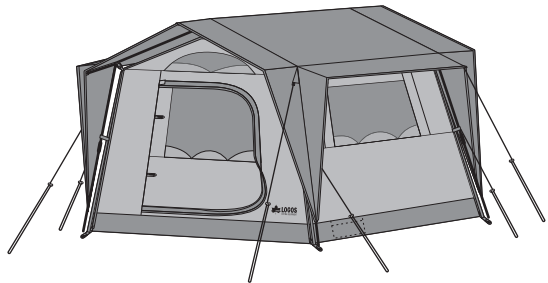


LOGOS
OUTING EQUIPMENT

Tradcanvas イージーセット
キャビント XL-BE
No.71201171

● 設営・取扱説明書 ● 当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表	生地×1		トップカバー×1		
	ペグ (スチール)		ロープ 3M×4 2M×4		ハンマー×1
		※サービス品		※装着済み	※サービス品



- テント内では、絶対に火気を使用しない。(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
- 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。(けがや破損のおそれ)
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

上手な
使いかた

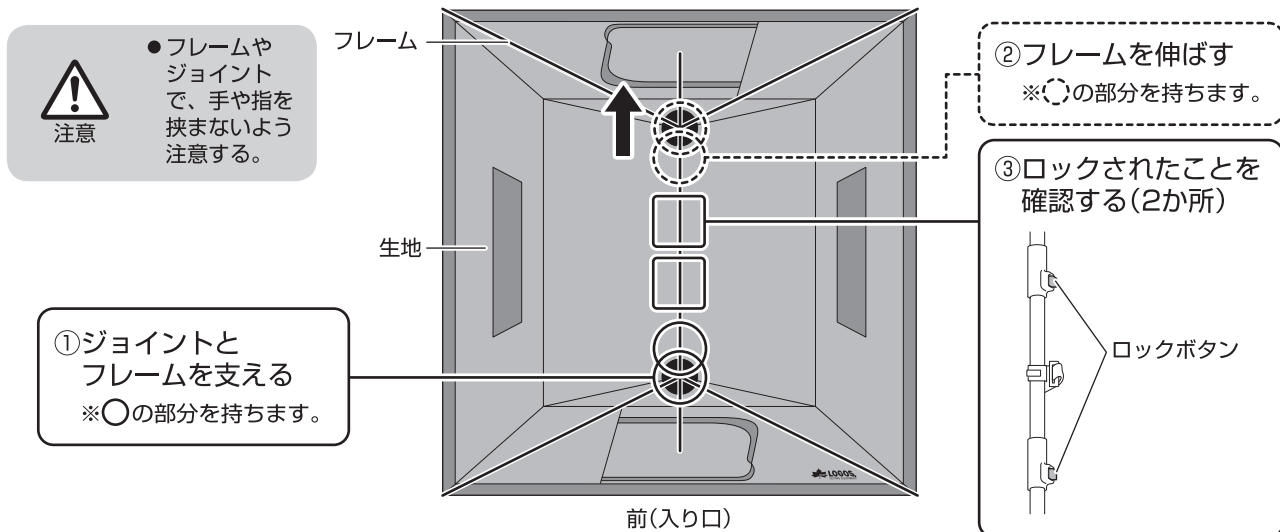
- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合があります。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- 付属のペグとハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

● 設営方法 ● 設営は2人以上で行ってください。
● 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

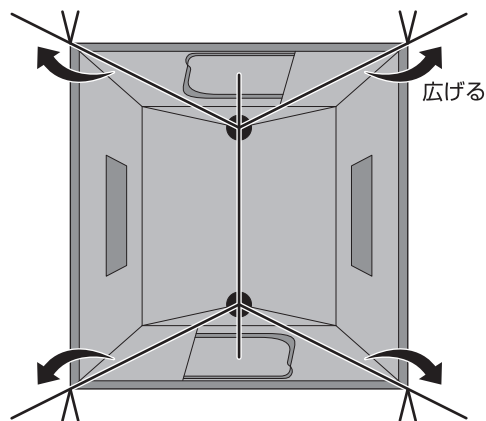
1 生地を広げ、中央のフレームを伸ばす

- 一人が一方のジョイント部分を支え、別の一人が反対側を持ってフレームを伸ばす。
- ロックボタン(2か所)がカチッとなるまで、確実に伸ばす。

！ フレームを伸ばす際は、生地がひっかかったり絡まったりしていないことを確認する。(無理に伸ばすと、破損や生地破れのおそれ)



2 四方のフレームを広げる

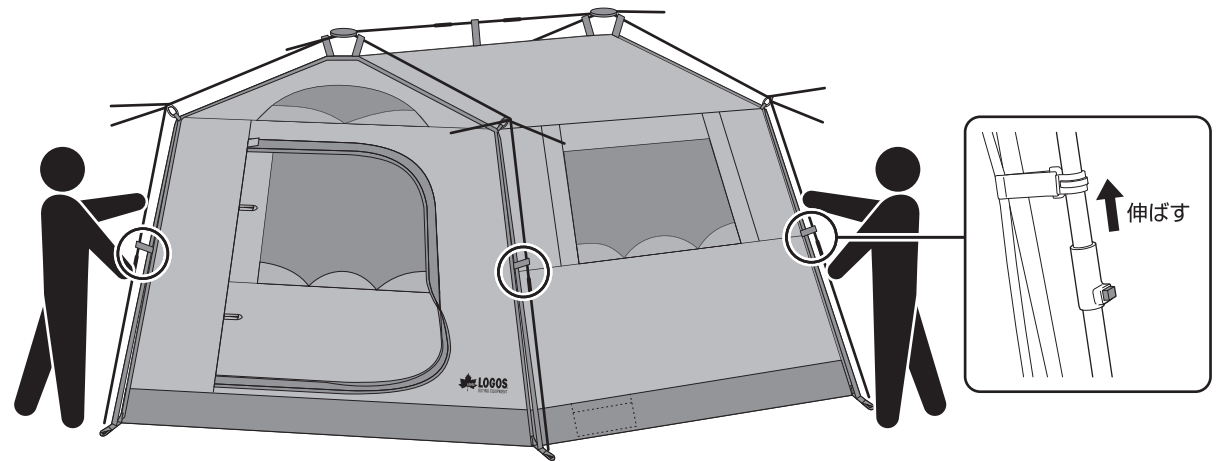


3 四方のフレームを伸ばして、テントを立ち上げる

- 一人が一方のフレームを支え、別の一人が反対側のフレームを伸ばす。
- ロックボタン(4か所)がカチッとなるまで、確実に伸ばす。



- フレームの先端が外を向いているため、目などに当たらないよう注意する。(けがのおそれ)

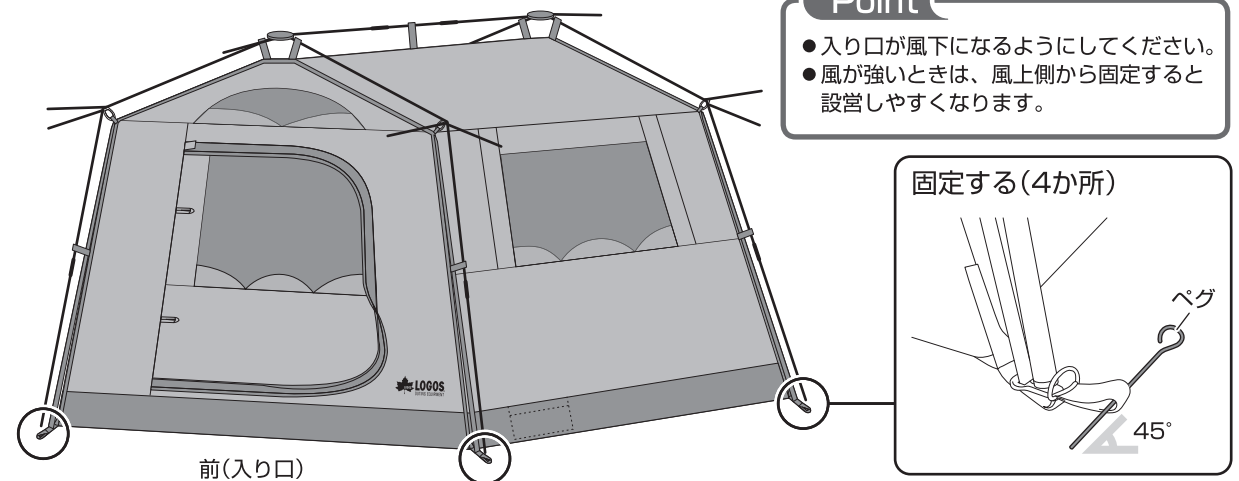


4 四隅を地面に固定する

- ペグは4か所打ち込む。

Point

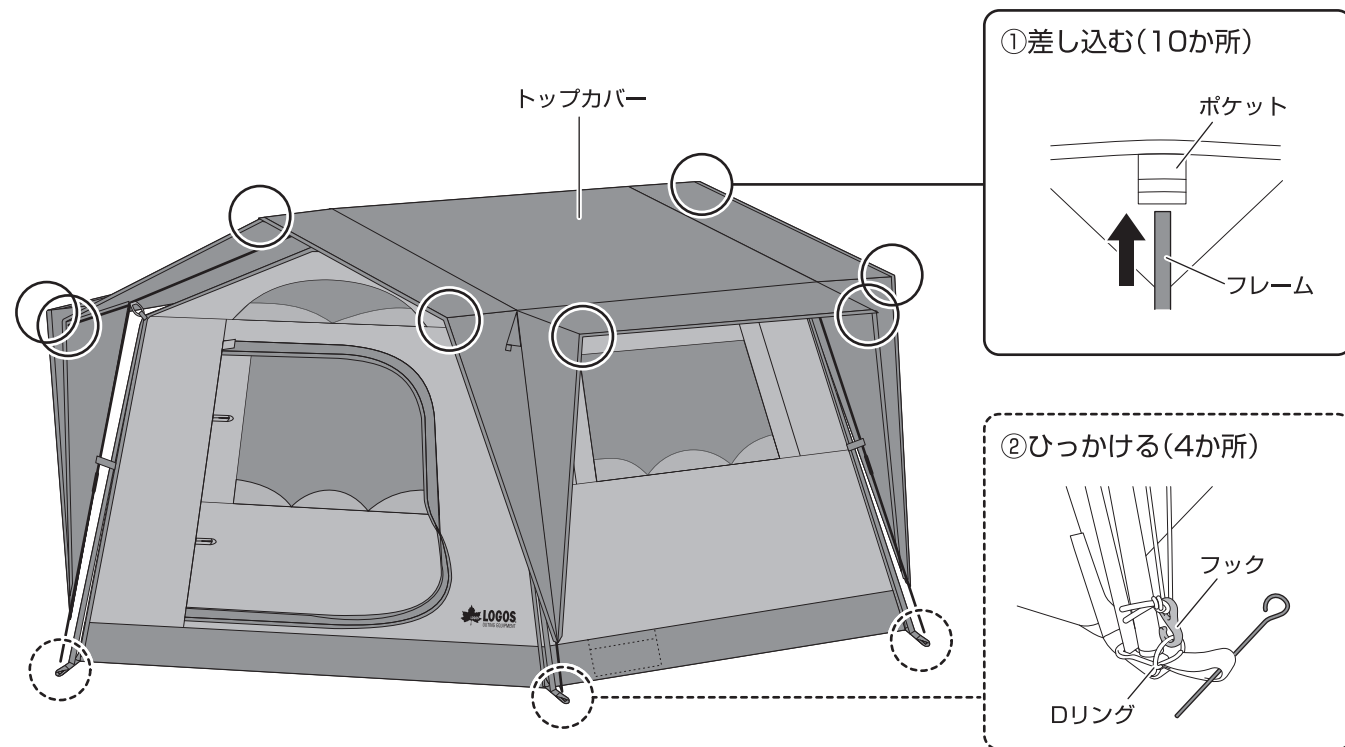
- 入り口が風下になるようにしてください。
- 風が強いときは、風上側から固定すると設営しやすくなります。



続きは裏面を見てください。

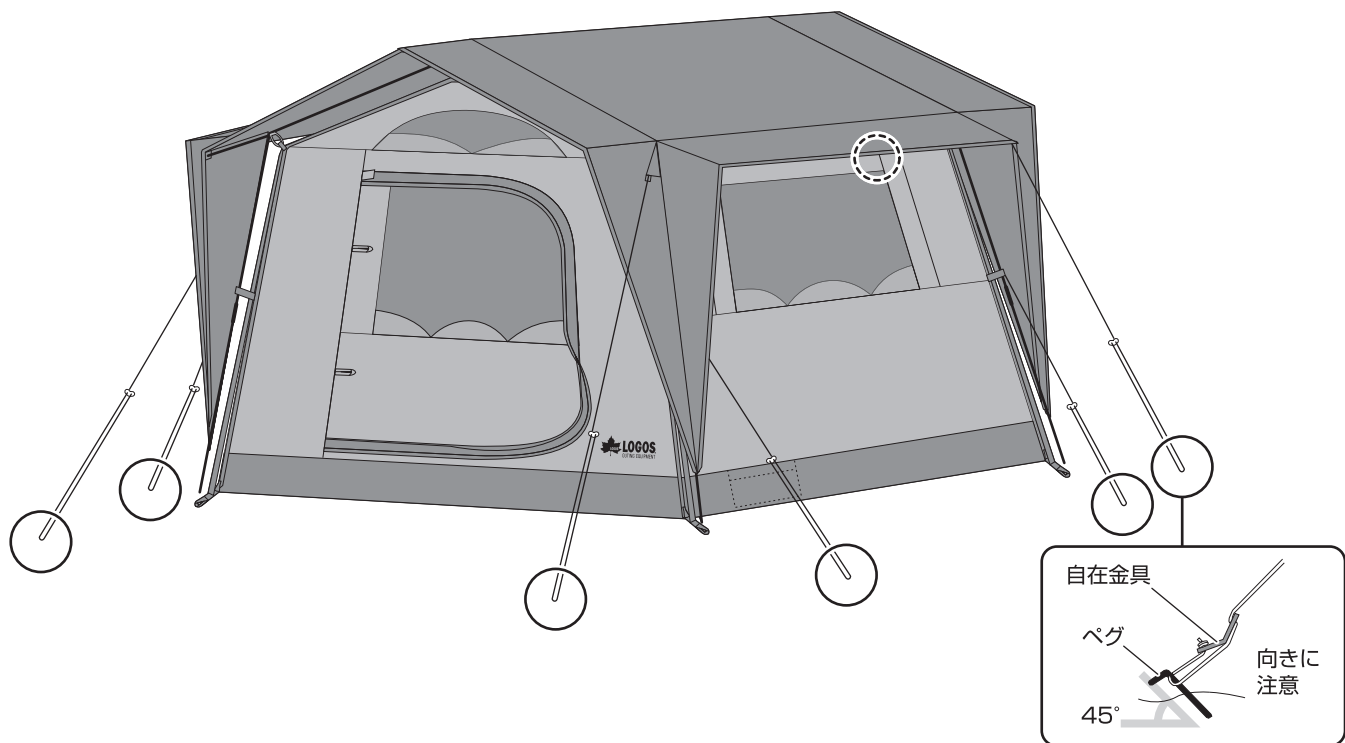
5 トップカバーを取り付ける

- トップカバーをかぶせて、フレームの先端をトップカバーのポケットに差し込む。(10か所)
- 四隅のフックをひっかけて固定する。



6 ペグで地面に固定する

- ペグは8か所打ち込む。

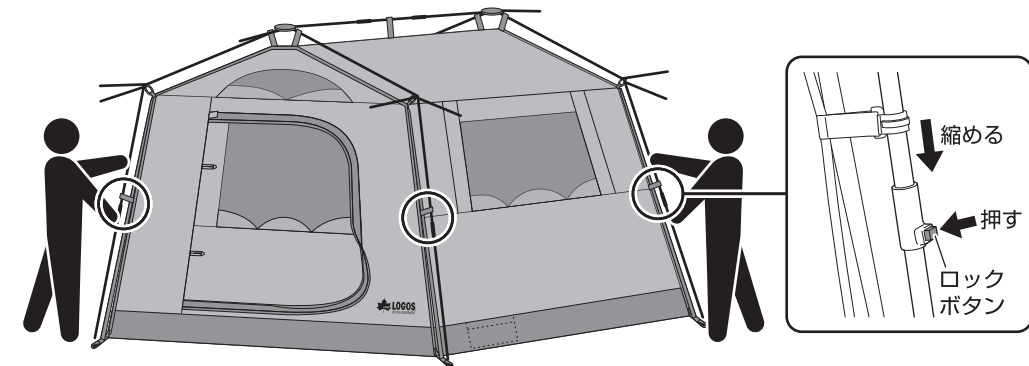


※雨天または強風時には、図の○のループから補助のロープを引いてください。
 その場合、別途2本のロープ(3m以上)とペグ2本をご用意ください。

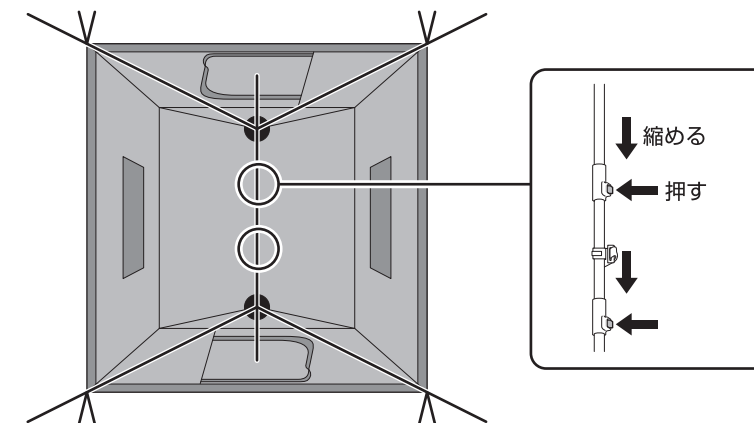
収納のPoint

収納前に完全に
乾かしてください。

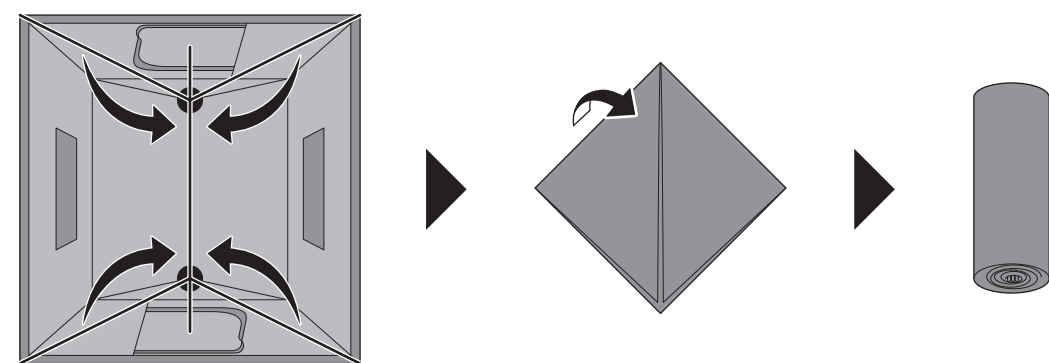
- ①トップカバーを取り外す
- ②ロックボタンを押しながら四方のフレームを縮める
 ・各フレームを同時に少しずつ縮めていく。



- ③ロックボタンを押しながら中央のフレームを縮める



- ④四方のフレームを中央に集めるようにたたむ
- ⑤フレームを芯にして生地を巻く



Designed by
LOGOS CORPORATION

発売元
株式会社 ログス コーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
 お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / www.logos.ne.jp
 ■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶



2024/09 HT